

# レッドマウス病

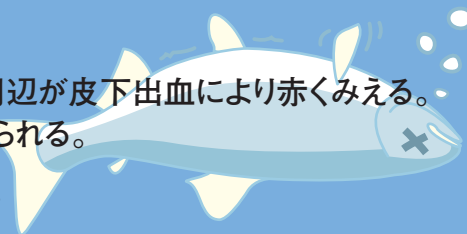
Enteric Redmouth Disease;ERM

## 主にサケ科魚類に発生する細菌病

主にサケ科の魚類に発生する細菌による病気である。1950年代にアメリカの養殖ニジマスに発生し、1960年代にはオーストラリアに、1970～1980年代にはヨーロッパに広がった。

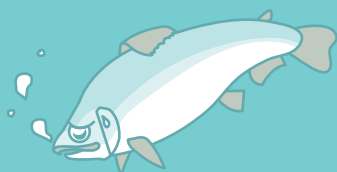
### どんな病気?

- 1.春から夏にかけての水温上昇期、多くは18℃前後で発生する。秋から冬の水温下降期にも発生する。
- 2.ニジマスでは稚魚期の死亡率が50～70%になる。
- 3.遊泳が緩慢になる。
- 4.外観症状としては、体色の黒ずみ、口の中や顎とその周辺が皮下出血により赤くみえる。また、鰭の基部や体側面の出血、眼球の突出などもみられる。
- 5.解剖すると、内臓に点状出血などがみられることがある。



### 病気が発生したさけ科魚類

ニジマスなど

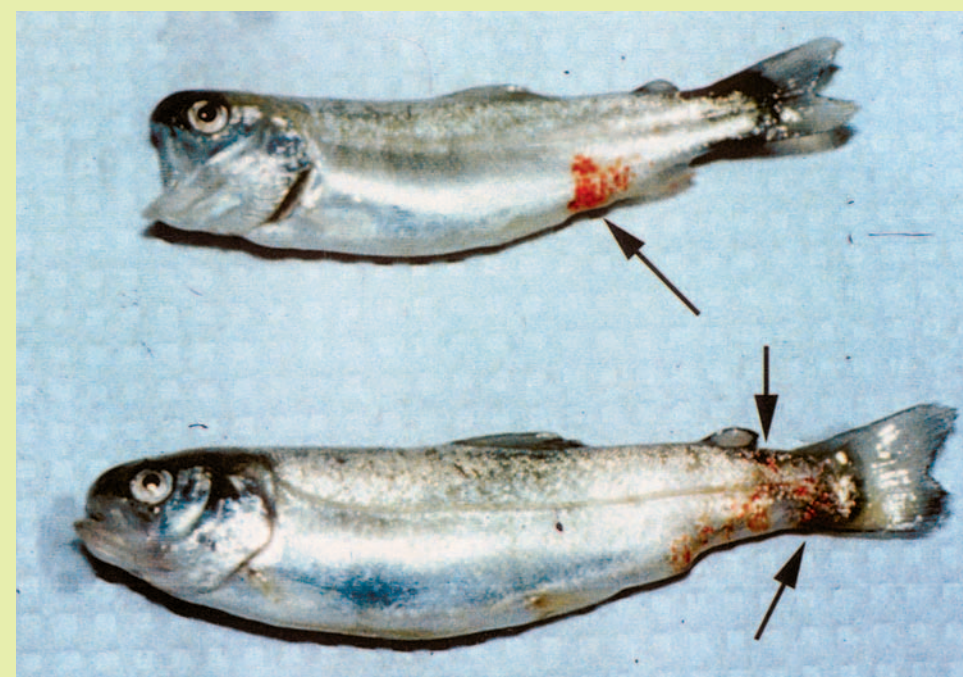


### 発生があった国・地域

アメリカ合衆国、カナダ、チリ、ベネズエラ  
オーストラリア、ニュージーランド  
ヨーロッパ諸国  
南アフリカ  
イラン



皮下出血のために口の中が赤くみえる(ニジマス)。  
【ヨーロッパ魚病学会誌 Vol.15,No.4, 増補版 “What should I do?” より転載】



臀びれの付け根や尾柄部に出血がみられる(ニジマス)。  
【S.Lapatra博士提供】